

令和3年度 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年4月12日

事業所名 児童発達支援ひだまりっこ

保護者等数 14

回収数 12

		チェック項目	はい	子ども いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を 踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	12	0	0	0	とても良いと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	11	1	0	0	安心して預けています。	
	③	生活空間は、子どもの状態に配慮した環境調整が行われているか。 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮（手すりやスロープの設置等）が適切になされているか。	11	0	0	1	無	コロナ禍になってから、保護者様の館内立ち入りを制限させていただいており、以前に比べ見る機会も全く減ってしまいました。お時間が合いましたら、月一回の自由参観ウィークに是非いらして見てください。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	0	1	無	環境温度につきましては温湿度計を使用し、主に室内熱中症に気をつけています。また現在は常時5cm窓を開け、30分毎に全開で換気しています。空気清浄機も使用しています。掃除は毎朝清掃員の方とスタッフ、業務の終わりにスタッフが清掃・消毒を行っております。
適切な 支援の 提供	⑤	児童発達支援計画 ⁱ は子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、作成されているか。	12	0	0	0	無	
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	12	0	0	0	無	
	⑦	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか。	12	0	0	0	無	
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	6	1	3	2	コロナ禍のため仕方ないと理解しています。	今年度もコロナウイルス感染予防対策に行えませんでした。相手方のあることとなりますので、交流活動はコロナウイルスがある程度終息してからになると思われま。

		チェック項目	はい	どちら も いい ない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を 踏まえた対応
保護者への説明等	⑨	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	12	0	0	0	無	
	⑩	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ⁱⁱⁱ 等）が行われているか。	12	0	0	0	様々な種類の研修会がありがたいと思います。	（法人全体として）家族支援として年間予定で研修会・勉強会・お話し会などのお便りを配布しております。ただ、障害特性により参加しづらいプログラムもあるとは思いますが、αのご利用者様に是非参加して欲しい企画の時は、再度お便りや口頭でお誘いしますので、是非とも参加していただければと思います。
	⑪	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	12	0	0	0	いつもお迎え時にその日の様子を教えていただけるのが楽しみです！	お子様の送迎ご苦労様です。ありがとうございます。送迎時にお話しできることはこちらも嬉しくしております。在宅でも継続して様子を見てほしいこと、取り組んでいただきたいこと、またお子様の細かな反応などお伝えできればと思っております。
	⑫	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	12	0	0	0	無	一年に2回の面談を行っておりますが、その他送迎時やお電話でのお話しや、臨時的な面談も行いますのでお申し付け下さい。また、保護者様が相談しやすい雰囲気作りや信頼関係の構築をして参ります。
	⑬	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	11	0	0	1	ZOOM懇談会開催でほかの保護者と顔を合わせることができてよかったです。	本年度もオンラインでの保護者会開催となりました。次年度は対面での保護者会開催にしたいと思っています。
	⑭	子どもや保護者からの相談や苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や苦情があった際に迅速かつ適切に対応されているか。	10	0	0	2	無	法人の苦情対応マニュアルに沿って適切かつ丁寧な対応を心がけます。言いにくい苦情は、匿名で出せる「投書箱」も玄関の靴箱の上にありますので、何かございましたらご利用いただければと思います。相談についてもその都度適切な返答ができるよう努めてまいります。
	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	11	1	0	0	無	
⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	12	0	0	0	無	事業所自己評価につきましては毎年一回ホームページ上で公表しております。また、お便りの発行が遅れ、行事予定がわかることが遅くなってしまうことがありました。申し訳ありません。出来るだけ月初～中旬には発信してまいります	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を 踏まえた対応
	⑰ 個人情報の取扱いに十分注意されているか。	11	1	0	0	無	気をつけてお話しはしておりますが、場面場面で気になることがありましたら教えていただけましたら幸いです。これからもスタッフ一同、個人情報の取扱いには十分注意するよう周知します。
非常時等の 対応	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	10	2	0	0	無	緊急時対応・防犯（防災）・感染症対策マニュアルについては、ご契約時にご説明と資料の配布をしております。また、aに特化した防災時（緊急時）マニュアルを作成し、aの入り口に貼付展示し、いつでも見ることができるようにしております。
	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	12	0	0	0	無	法人として年に一回防災訓練をしています（消防署来所していただき）。また、ひだまりっこ・ひだまりっこaは、隔月での避難訓練をしています。なるべくみんな参加できるように1週間毎日行っています。避難用具の選定や再考も行っています。
満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか。	12	0	0	0	無	今後ともお子様、ご家族、ご利用者様が楽しんで通所できる事業を、安定して継続できるよう、スタッフ一丸となって頑張っておりますので、よろしくお願い致します。
	㉑ 事業所の支援に満足しているか。	12	0	0	0	無	

<自由記載欄より 全抜粋>

- いつもありがとうございます。私たちになくてはならない居場所です。
- いつも楽しく通わせていただいています。ありがとうございます。
- いつもたくさん遊んでくれてありがとうございます。
- とても楽しく登園しています。私たち親もとても安心して預けることができます。ありがとうございます。もう少し長い時間子供達を預かっていただけると嬉しいです。

→皆様の嬉しいお言葉ありがとうございます。こちらもお子様方からたくさんの幸せな気持ちをいただいております。療育時間の延長につきましては、気兼ねなく使っていただけなすよう人的配置を整備しましたので、ご利用いただきますようお願いいたします。

- コロナ禍において対策を取りながら大変良くしていただいております。いつもありがとうございます。

→今年度も工夫しながら、動物園遠足を挙行了しました。コロナ禍も長期戦になっております。「できること、できないこと。正しく恐れること。」を考えて取り組んでおります。お子様の1年はとても濃密で大事な成長の早い一年です。「どうすればできるか」をスタッフで考え、これからも行動していきたいと思っております。

・難しいことを承知の上での要望ですが、体調不良などなく車移動中も医療ケアが必要でないことが多い場合に、送迎での対応をしていただけると、仕事復帰後助かるなと思いました。それが看護師さんの同乗が可能であれば…

→そうですね。お仕事されるうえでも、サービス体制が整っていると助かりますね。しかしながら、現状ハード面（車両の準備）やソフト面、人的資源の確保など、サービスとしてスタートさせるには困難であります。そのかわりといっはなんですが、すぐ取り掛かれることとして、柔軟な療育時間の提供を次年度から提案させていただきました。また、療育の上で家族とのコミュニケーションは必須であり、とても大切だと思っております。対面で話せて事業所の雰囲気も感じていただける、送迎時のコミュニケーションも大切にしていきたいと思い、創立当初より大事にしているお時間であることもご理解いただけますと幸いです。

以上

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

（注釈）

- i 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- ii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iii 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。